



導入事例

ハスクバーナ： コネクテッド・テクノロジーで 芝生管理に革命を起こす

世界有数の農林・造園機器メーカーであるハスクバーナは、Telenor IoTのマネージド・コネクティビティを導入したロボット芝刈り機 Automower NERAの新シリーズで芝生の手入れに変革をもたらしました。ハスクバーナはIoTのパワーを活用することで、よりスマートで効率的な緑地管理の方法を提供しています。

telenor IoT



概要

ハスクバーナは、ロボット芝刈り機やチェーンソー、グラストリマなどを扱う屋外用電動製品の大手メーカーです。スウェーデンに本社を置き、300年以上の歴史を誇ります。

ハスクバーナ製品は、芝生の手入れやガーデニングをより簡単、効率的で持続可能なものにするために設計されています。ハスクバーナは、その革新的技術と品質へのこだわりにより、住宅所有者や造園業者などの専門家に信頼されるブランドとして知られています。すでに300万人以上の住宅所有者が同社のロボット芝刈り機を使用し、手間のかからないインテリジェントな芝生管理を24時間体制で実現しています。

ハスクバーナとTelenor IoTは2016年以来、ロボット芝刈り機に便利な遠隔制御の機能を取り入れるために緊密に協力してきました。その後、パートナーシップはより幅広い製品やサービスに拡大されています。この提携の目標は、IoT技術によってハスクバーナ製品の性能と効率を高めるとともに、ユーザー体験を向上させることです。



背景

住宅所有者は長年にわたり、より簡単で時間のかからない芝生の手入れ方法を模索してきました。ハスクバーナのロボット芝刈り機Automowerシリーズは、この点において画期的な製品です。

ハスクバーナは、ロボット芝刈り機の最新製品であるAutomower NERAにTelenor IoTのマネージド・コネクティビティを導入し、ロボット芝刈り機を次のレベルへと進化させました。その結果、今までにない芝生管理の性能と機能を提供する、高度で効率的な芝刈り機が誕生したのです。



Automower NERA

ハスクバーナのAutomower NERAは、先進技術を取り入れたハイテックロボット芝刈り機です。効率的かつ持続可能で、手間をかけずに緑地をメンテナンスできます。次世代のインテリジェンスとセンサーを搭載したAutomower NERAシリーズは、障害物のある場所や凹凸のある地形、傾斜地でも問題なく自律走行しながら、最大5000m²の複雑な芝生を常に均一の長さに保ちます。

Automower NERAのユニークな特徴の一つは、マネージド・コネクティビティとの統合とIoT関連技術の活用にあります。内蔵SIMカードによってTelenorのグローバル・ネットワークに接続されているので、ハスクバーナはAutomowerがどこにあってリモートで監視・制御できるほか、無線によ

るアップデートやソフトウェア更新も可能です。さらに、ハスクバーナ・クラウド・サービスへの信頼性の高い接続により、天気予報などのさまざまなサービスとつながることで、さらなるユーザー価値を生み出します。

課題

ハスクバーナは、芝生管理に関していくつかの課題を抱えていました。主な課題の一つは、芝生の手入れを簡素化し、時間と労力を軽減することでした。そこで、同社が新たに発売したロボット芝刈り機シリーズが活躍します。

しかし、IoT技術を導入する前には、Automower NERA芝刈り機の新機種が常

にネット接続された状態でアップデートやソフトウェア更新ができるようにするという課題にも直面していました。

さらにハスクバーナは、モバイルアプリでAutomowerをリモートで監視・制御でき、クラウドベースの機能を通じて、さらなるユーザー価値を創出したいと考えていました。

ソリューション

これらの課題を克服するために、ハスクバーナは再びTelenor IoTに目を向けました。Telenor IoTのマネージド・コネクティビティ・ソリューションであるIoT Connectには、Telenorのグローバル・ネットワークに接続できるSIMカードが含まれており、それがAutomower NERAに組み込まれました。これにより、ハスクバーナはAutomowerをリモートで監視・制御し、芝刈り機がどこにいても無線でアップデートやソフトウェア更新ができるようになりました。

マネージド・コネクティビティを採用することで、顧客はよりスマートで効率的な緑地管理を実現できます。リモートでの監視と制御、無線によるソフトウェア更新、効率の向上により、ハスクバーナは芝生管理の改善策を提供しています。

オートモア・インテリジェント・マッピング・テクノロジー (AIM)

ハスクバーナのAIMテクノロジーは、搭載されたGPSセンサーを使用して、芝生のバーチャルマップを作成します。これにより、ガイドワイヤー、境界線、芝刈り機の位置をバーチャルマップ上で高精度に確認でき、ユーザーは個々の庭の変化するニーズに応じて芝生をカスタマイズすることができます。例えば、生物多様性を考慮して特定の場所を刈らないようにしたり、新しく植えられた芝のある場所を避けたり、好みに合わせて刈り込み具合を調整したりすることが可能です。

マップが作成されると、ハスクバーナは刈り込み作業中に芝生のどの部分が刈られたかを記録します。このデータをもとに、最適な範囲と正確な刈り込み結果が得られるよう芝刈り機の作業パターンが調整されます。



メリット

Telenor IoTのマネージド・コネクティビティがハスクバーナのAutomower NERAシリーズにもたらしたメリットは数多くあります。まず、ユーザーはハスクバーナ・コネクト・アプリを使用して、Automowerをリモートで監視・制御できるようになりました。つまり、どこからでも芝刈り機を始動・停止させたり、刈り込みの長さを調整したり、芝刈り機が事前に設定したエリアから外れた場合にアラートを受信したりできるということです。さらに、Automower NERAのソフトウェア更新やアップデートを無線で配信できるため、ユーザーは常に最新の機能や性能を利用することができ、ハスクバーナのクラウドサービスへの継続的な接続により、さらなる価値が提供されます。

持続可能性の観点からも、芝生管理におけるIoT技術の活用は画期的なことです。バッテリー駆動のAutomower NERAは、ハスクバーナ製品に期待されるパワーを維持しながらも、従来のガソリンエンジンの製品と比べてアクティブな使用時の二酸化炭素排出量は低減されています。

さらに、Telenor IoTのマネージド・コネクティビティにより、Automower NERAは常に最高のパフォーマンスで稼働し、ダウンタイムを削減し、効率を最大化することができます。



結果

Telenor IoTのマネージド・コネクティビティにより、ハスクバーナのAutomower NERAは、その高度な機能とよりスマートな技術で芝生の手入れに変革をもたらしました。リモートでの監視と制御、無線によるソフトウェア更新、効率の向上により、ハスクバーナは緑地管理の改善策を提供しています。IoT技術が進化を続ける中、よりスマートで持続可能な芝生管理の可能性が無限であることは明らかです。



**ハスクバーナ住宅用ロボティクス部門プロダクトマネージャー、
アンダース・リンドストロム氏：**「Automower NERAは、芝生管理における持続可能性、効率性、技術の進歩に対するハスクバーナの取り組みを示す革新的な製品です。Telenorのグローバルなマネージド・コネクティビティとIoT技術により、Automower NERAは手間をかけずに緑地を維持する方法を提供します。芝生の手入れに必要な時間と労力を削減し、ユーザーは指一本触れずに手入れの行き届いた芝生を楽しむことができるのです」



TELENOR CONNEXION

Telenor IoTは、世界有数の携帯電話事業者であるTelenor GroupのIoTソリューションのポートフォリオです。Telenorは、20年以上にわたり、あらゆる規模の企業にグローバルなIoT接続、クラウドサービス、専門家によるサポートを提供してきた経験を持ち、世界で最も先進的なIoTソリューション・プロバイダーの1つです。Telenor IoTは、約200カ国のグローバル顧客向けに国際的なIoT展開を管理しており、現在、ボルボ、スカニア、日立建機、Verisure Securitas Direct、ハスクバーナなどの企業向けに2,000万台を超える接続デバイスを運用しています。IoTソリューションは、北欧では各国のTelenor事業部を通じて提供され、グローバルではTelenor Connexion (高度なサポートとカスタマイズされたオファーを必要とする国際企業にIoTソリューションを提供するTelenorの専門部門)を通じて提供されています。

 iot.telenor.com

 sales@telenorconnexion.com